

市民ネットワーク・の다가 通信

No.118

2016年4月

野田市議会議員

小室みえこ

野田市山崎2694 C-302

編集発行:市民ネットワーク・の다가 住所:野田市野田312 代表 鈴木真理子 Tel:7123-6981 Fax:7123-6982
http://www10.ocn.ne.jp/~nodanet/ Eメール shiminnnetnoda@chorus.ocn.ne.jp

市長選

あなたは
どうしますか?

6/12
投開票

市民ネットワークは、市長選立候補予定者に、公開質問状を送り、その回答を公開いたします。

Q. 市民ネットワークは、野田市の街づくりに必要な施策が必要だと思いい活動してきました。優先順位をつけてもらい、その理由と対策を答えていただきます。

○心地よく暮らせるまち 福祉の充実
○大型土木事業より生活優先のまちづくり

○市政に市民の知恵とパワーを生かす

○豊かなみどり暮らし

○平和を発信するまち

○みんなの人権を大切にするまち

○食の安全を考えるまち

○次世代に借金を残さないまち

○子どもの個性を生かし教育環境を大切にするまち

Q. 次の政策は、自治体にとっても、大きな影響があります。賛否とその理由を答えていただきます。

○安保関連法制

○沖縄辺野古への基地移設

○原子力発電所の再稼働

回答を「市民ネットワーク・の다가」のホームページに5月中旬にアップする予定です。又はお問い合わせください。

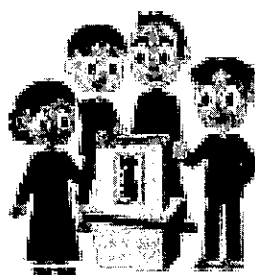
「さあ！みんなで

選挙に行こう!!」

6月 市長選

7月 参議院選挙

日本のこれからを決める大事な選挙です。安倍政権にNO!!をつきつけなければ、また、あの時代に戻ってしまいます。



予算委員会から

待機児童問題への対応

子どもの人数が減って、保育施設が供給過剰になることも想定されます。しかし、現在の待機児童の問題を解消する必要もあり、既存の保育所の定員を増やしていくとしています。

具体的には?

指定管理で3園、民間保育所で4園の合計7園で各々10名ずつ定員を増やします。

しかし、定員を増やすと、公定価格が下がり事業所の収入が減ってしまうため、その減額分を市が助成するとしています。その方が新たに保育所をつくるよりも若干安くあがるとの答弁でした。

また、保育士不足による待機児童の発生を防ぐため、事業所が保育士確保のために宿舎を借り上げた場合の家賃補助を行うとしています。

市民ネットワーク

行政改革によって、直営の保育所には職員の増員を行わないとしています。その分、民間や指定管理の保育所に定員を増やし負担をかけてしまいます。

予算を保育士の処遇改善に当て、保育の質を上げることが重要です。また、待遇を良くして、市内の有資格者を掘り起こし、野田市の子どもたちの保育に手を貸してもらい、市民の力を活かして安定した保育環境をつくるべきです。付け焼刃的な対策は、将来に禍根を残し、取り返しがつかなくなります。